

## 国立大学法人 滋賀大学 経済学部 地域連携教育推進室

(滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号)



SHIGA UNIVERSITY

### 滋賀大学の取組

## 滋賀大学における「People`s Pantry・みんなの食品庫」を核にした食品ロス削減の啓発と食料配布の取り組み



2019年11月に滋賀大学で実施したキャンパスSDGsのイベント「サステナウィーク」の取り組みの一つとして開始して以降、滋賀大学彦根キャンパスの地域連携教育推進室内に常設のパントリー「People`s Pantry みんなの食品庫」を開設。教職員や学生らが家庭に保管している食品で余ったり不要になったものを受付し、必要とする学生への配布活動を行っている。

パントリーの運営は、地域連携教育推進室のスタッフと2020年に発足した学生自主活動グループ「滋賀大学サステナビリティ研究会」の学生らが担っている。

大学内で行うことで、教職員・学生への食品ロス削減の啓発と必要な人への配布が効率的に行え、ロス食品が活用されていることが見える化できている。



大学の授業や SDGs をテーマにしたイベントと常に連携して実施するとともに、「サステナビリティ研究会」発足以降は、教職員・学生の連携が活発になっており、今後も食品ロス削減の啓発とロス食品の有効活用が期待される。

また、地域の「フードバンクひこね」の活動に教員や学生らがボランティアとして参加し、運営に協力するとともに、食品庫で配布する食材の供給を受けている。

活動を通じて、彦根市社会福祉協議会とも連携・協力し、学生が中心となり大学周辺の自治会（各家庭）や農業者から不要になった食材や規格外野菜の提供を募るなど、地域との関わりも広がってきており、地域への食品ロス削減への効果も期待できる。



### 受賞者コメント

この度は優良取り組みとして選定いただき、ありがとうございます。

キャンパス SDGs 活動として地域連携教育推進室から小さく始めたものが、学生らの自主活動と連携し、地域に広がる活動になってきました。食品庫を利用する学生の数も増えており、食品ロス削減の啓発が進むことに加え、コロナ禍であっても、大学に来たら食品が調達できたり、地域連携教育推進室のスタッフやこの場に集う学生と会話や交流ができたりと、学生にとって心と体の安心が得られる居場所にもなっています。

今回の受賞を励みに、地域連携教育推進室や「みんなの食品庫」の役割をより充実したいと考えています。さらに、地域との関係においても、大学の地域貢献という枠に留まらず、大学や大学生が地域社会を構成する一員であることを自覚し、活動に注力したいと思います。